

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネイスぷらす常盤平校			
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		～	2025年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		～	2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が思いきり運動するのに十分なスペースが確保されている	広い空間の為、教室全体に目が行き届くよう職員の立ち位置等に配慮している	広いスペースを活用して、より一層子ども達が楽しみながら取り組める運動療育を提供していく
2	SNSやHUGの活動記録を通じて、普段の療育の様子やイベントの報告など適時公開している	プライバシーに配慮しつつ写真や動画を交えて、療育の様子が分かりやすいように工夫している	活動報告の頻度を上げ、より多くの保護者様に活動の様子を伝えられるようにする

3	運動療育だけではなく課題活動の時間もあり、指先を使った微細活動やルール遊びなど様々なアプローチで支援が出来る	個々の支援内容に沿って、プログラムを考えている	研修を通して職員全体のスキルアップを図り、様々な視点からアプローチが出来るよう取り組んでいく
---	--	-------------------------	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などの開催はしていないので、保護者同士の交流の機会が設けられていない	環境の整備が整っていない為	保護者様の要望もお聞きしながら、必要があれば会社とも協議をしていく
2	保育所等訪問支援を行っていない	実績がなく、整備が整っていない為	保育所等訪問支援の代わりに、学校や保育所等、他事業所も交えたサービス担当者会議を行うことで代替したい

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ネイスぷらす常盤平校		公表日 年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	こどもが入ると危険な箇所に関しては赤い線やパーテーション等で区切りわかりやすいようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清掃や消毒を毎日行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	終礼でその日の振り返りをし、次回以降の支援に役立てています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	社内社外の監査チームによる定期的な評価等を行い、業務改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	事業部全体で定期的に研修を行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページにて公表しています。	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	支援計画作成前に保護者様との面談を行いニーズの把握をしたり、直接支援に当たっている指導員から意見をもらい支援会議を行ったりしながら作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援計画を作成する際に支援会議を開催しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援会議に参加をしてもらうと同時に、サービス提供記録を作成する際に支援計画の達成状況を日々確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	こどもの日々の様子を見て気づいたことや支援方針等を日々の終礼で共有しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	地域支援の部分に関してはできていないため、今後取り入れていく必要があると考えております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	月のテーマに沿っての活動やイベントごと等に関してはどのように進めていくかを全体で決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	週ごとに体操のメニューを変えたり、課題活動の内容もメンバーによって変えたりしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	小集団での療育のため個別活動を行うことは難しいですが、その点に関しては専門的支援計画を作成し、別途支援を行っています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日の朝礼でその日の支援内容を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	日々終礼を行い、振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	職員記録欄で必要なことを共有しています。	
関係機関や保護者との連携	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	支援計画作成前にモニタリングの時間を取り、保護者様から最近の様子や悩みごと等を伺っております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	サービス担当者会議には参加をしていますが、頻度は少ないためもっと積極的に取り組む必要があると感じています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	発達センター等の関係機関と必要に応じて連携を取っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	必要に応じて訪問や情報共有等を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	5		保護者様の要望に応じて就学時に必要な情報共有なども行っていきたいと考えています。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	必要に応じて訪問や情報共有等を行っています。		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		課題として感じておりますが、保護者様からの様々な意見を頂いているため、会社としては必要性を含めて引き続き検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	HUGへの記録と共にお子様の引き渡し時にその日の出来事や様子等を口頭で伝えていきます。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		会社としても開催に向けて前向きに検討を進めております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	ご契約の際に説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	アセスメントの時間を取り、保護者様から聞き取りを行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じてこちらからも声掛けを行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		会社としても開催に向けて前向きに検討を進めております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	適宜対応をしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	インスタグラムにて発信をしています。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報を含む書類は鍵のかかったロッカーに保管しています。		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		課題として感じておりますが、保護者様からの様々な意見を頂いているため、会社としては必要性を含めて引き続き検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的避難救出訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	保護者様にご記入いただいたフェイスシートで把握をしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	医師の指示書はもらっていませんが、保護者からの申告によりアレルギーには配慮しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	定期的避難訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	ご契約の際に説明をすると共にHUGでの活動記録で周知をしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	教室内で共有すると共に本部にも報告をしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	事業所全体で定期的に研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	契約書に記載すると共に契約の際に口頭で説明をしています。	